

「みつひかり」は、三井化学アグロ（民間企業）が育成した  
ハイブリッドライスです。

多様化する国内の米需要に対応できる品種です。  
遺伝子組み換え品種ではありません。



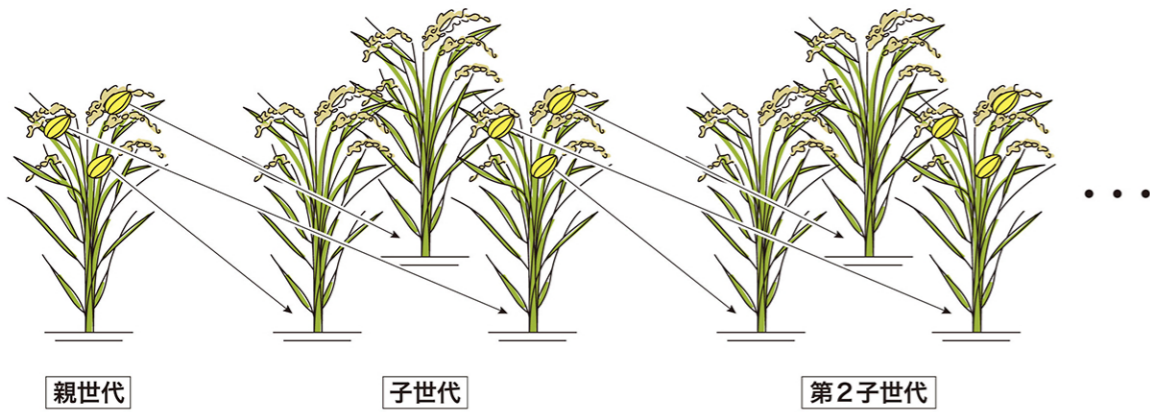
●  
みつひかり

MITSUHIKARI

## 「ハイブリッドライス」と一般品種の違い

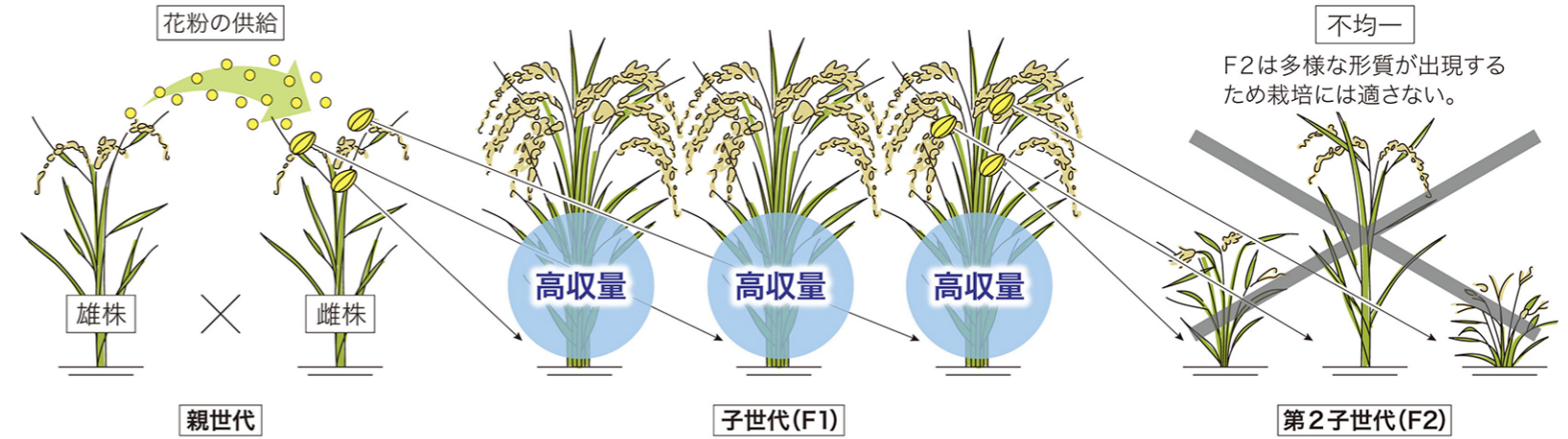
### 一般品種

種子…自家採種可能



### ハイブリッドライス

種子…毎年更新 (自家採種不可)

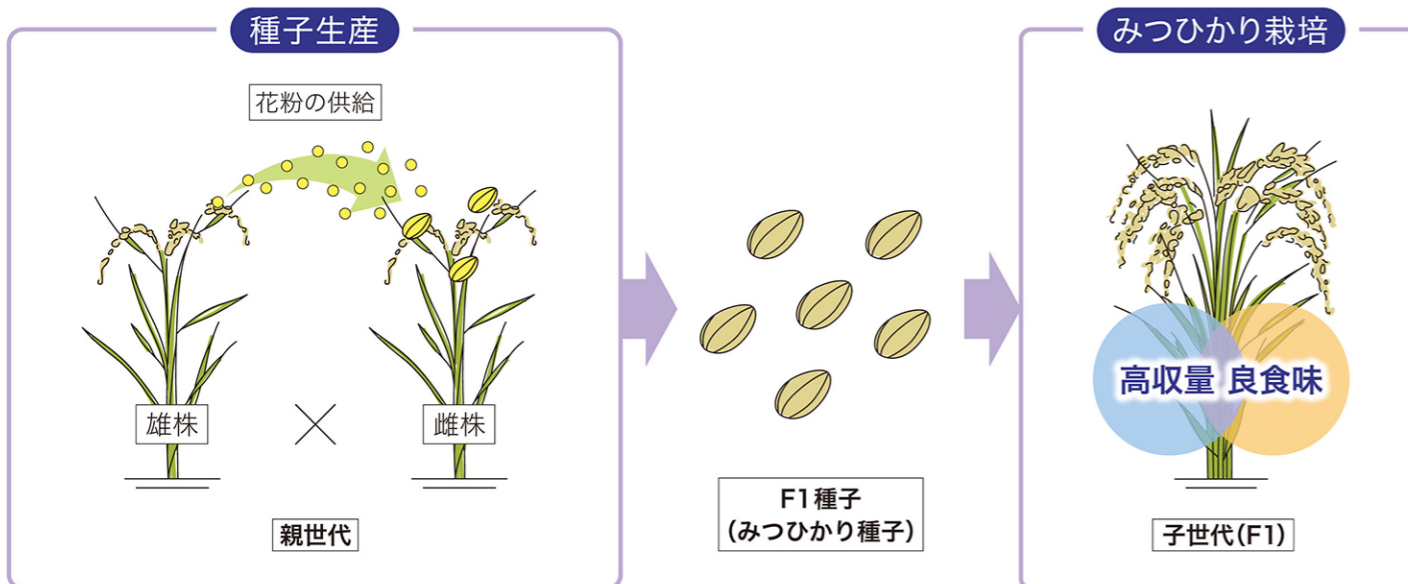


## ハイブリッドライス「みつひかり」

三井化学アグロが育成した雄株と雌株(花粉を持たないイネ)を交配させ、受粉したものがみつひかり種子となる。両親の優れた形質がその子供の世代(F1)だけに均質に受け継がれること(雑種強勢)を利用。

F1 水稻種子：みつひかり2003※、みつひかり2005※

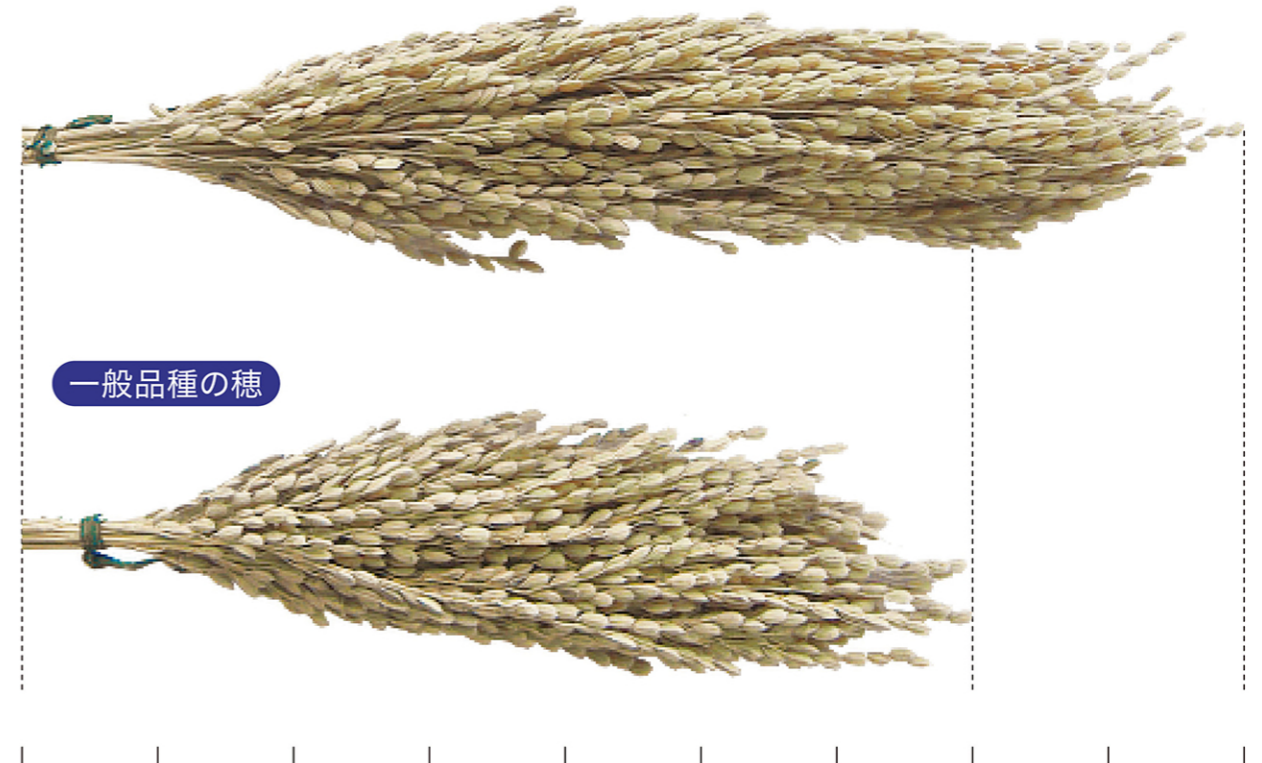
※雄株はみつひかり2003、みつひかり2005とも同じだが、みつひかり2003の雌株は(日本晴系統)、みつひかり2005の雌株は(コシヒカリ系統)。



## 「みつひかり」と一般品種の比較

### みつひかりの穂

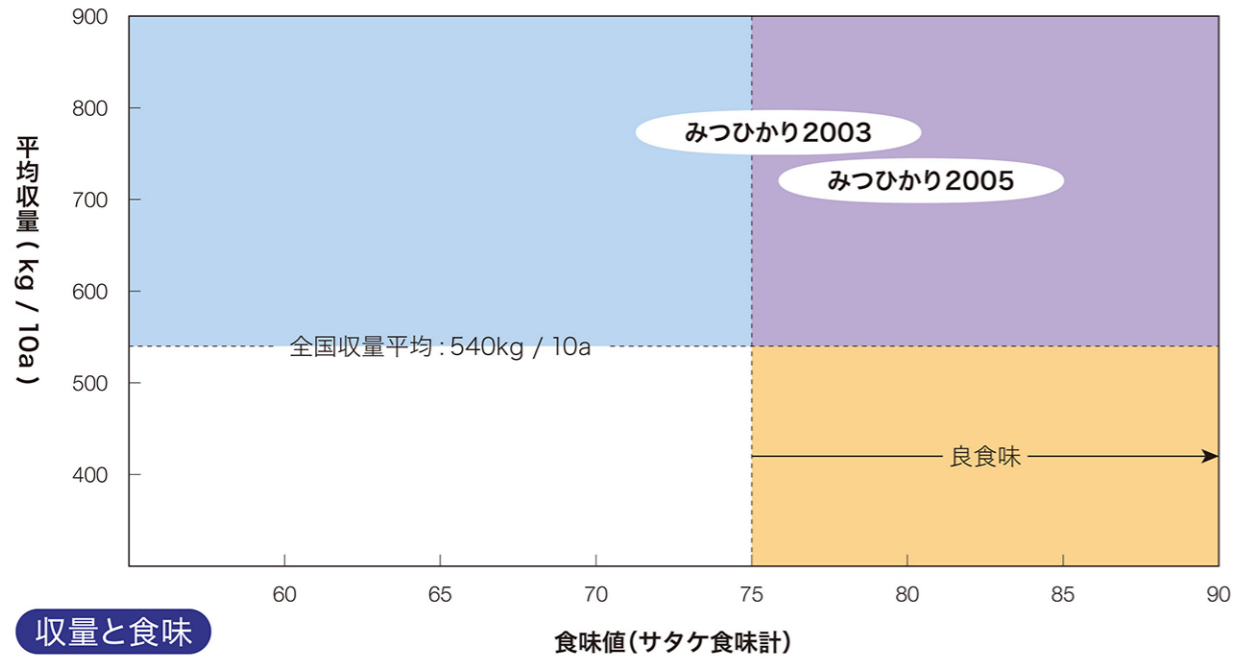
穂長・一穂粒数は一般品種の約1.5倍となり、増収に結びつく。



「みつひかり」の特性(収益、流通面)



1 収量が多く、食味値が高い!



収量と食味

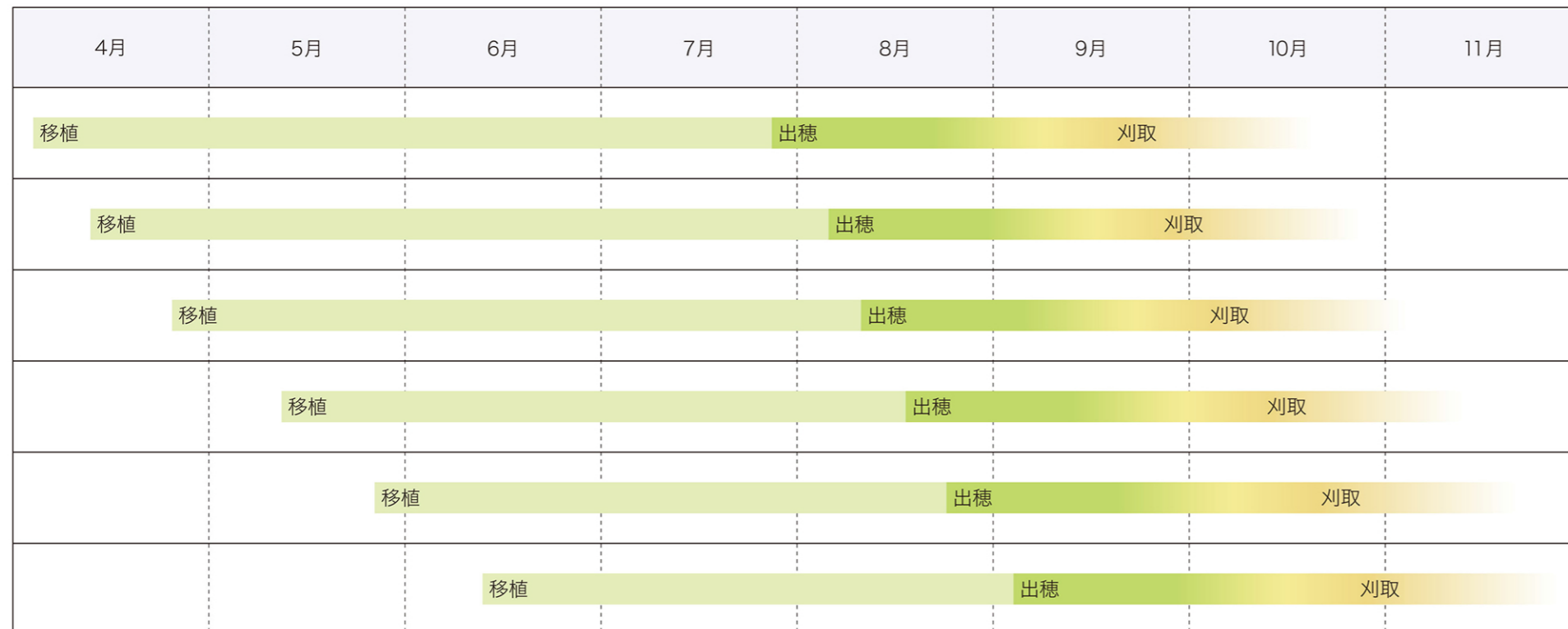
2 幅広い用途に使える!

品 種	用 途						
	家庭用	業 務 用					
		飯米	丼	カレー	チャーハン・ピラフ	すし	おむすび・弁当
みつひかり2003	○	○	◎	◎	◎	○	△
みつひかり2005	◎	◎	△	△	△	○	◎

3 コメ卸の独自性を出せる!

「みつひかり」は三井化学アグロ(民間企業)が育成したハイブリッドライス。

「みつひかり」の移植から収穫まで



一般品種より生育期間が非常に長い。  
 稲刈りが遅くなっても品質低下は少ない。



作期分散が可能!

※本資料は中部・太平洋側を想定 ※気象条件、圃場条件などにより異なります